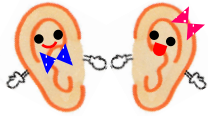




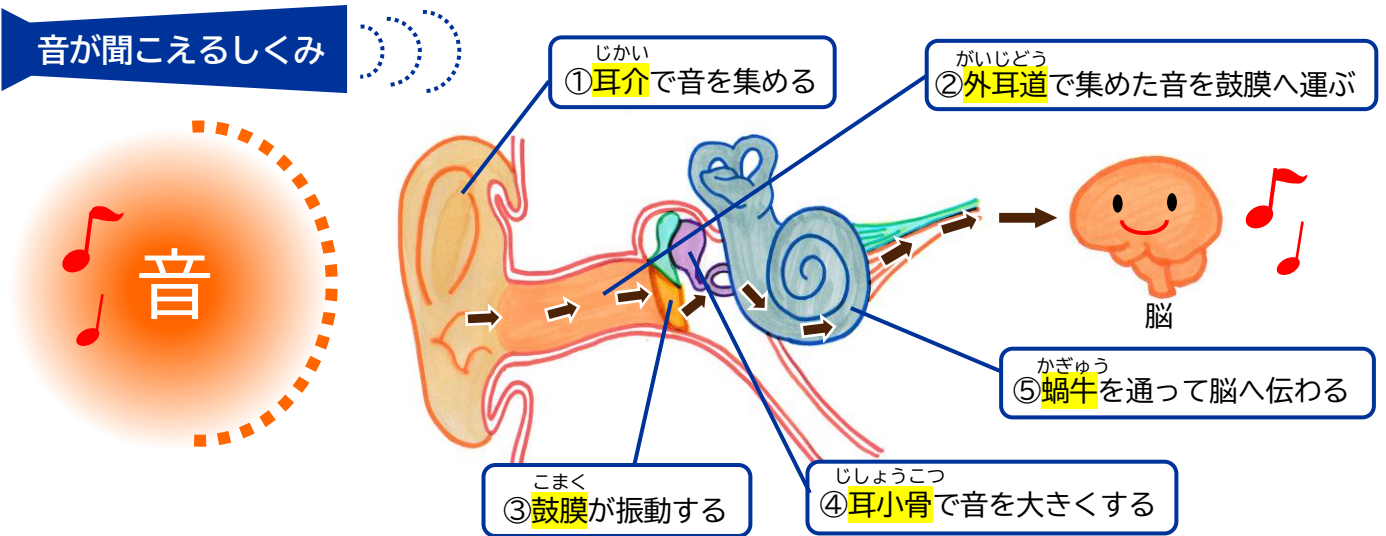
みどりっこは、お子様が病気やケガなどで、保護者の方がご家庭で看病ができない時など、お子様の症状や体調などに合わせて回復に早く向かえるように専任看護師・保育士が保育看護を行い、1日を安心・安全で快適に過ごしていただく医療機関併設型の病児保育室です。

耳のふしぎのおはなし



3月3日は「耳の日」。耳には音を伝えたり聞き分けたりする役割のほかに、からだのバランスを知る重要な働きもしています。神秘的でふしぎな耳の世界をじっくり探ってみましょう。

音が聞こえるしくみ



耳のQ&A

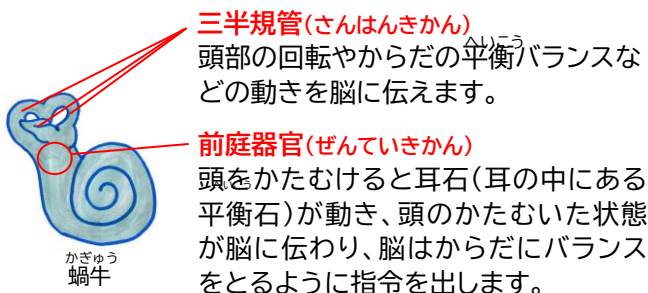


①なぜ耳はふたつあるの？

右と左のどちらから音がするか判断するためです。音のなっている方(音源)に近い耳が大きく聞こえ、音源から遠い耳が小さく遅く聞こえます。

②からだのバランスと耳の関係って？

耳の奥にある三半規管と前庭器官が深く関係しています。



③大きい音の聞きすぎはよくないの？

ヘッドホンで長い時間、耳元で大きな音を聞くことで、耳がつまった感じがしたり、耳鳴りがしたり、耳が聞こえにくくなることがあります。(ヘッドホン難聴)
難聴はいったん起こってしまうと、治りにくいこともあります。

予防するには？

- ・人に呼びかけられて、話し声が聞こえる程度の音量で聞こう。
- ・長い間、続けて聞かないで、耳を休ませる時間をつくろう。
- ・耳鳴りや耳がつまった感じがしたら、すぐにヘッドホンを使うのをやめ、耳を休ませよう
- ・耳を休ませても治らない場合は、早めに医師に相談しましょう。

